

誰もが安心して暮らせる福祉の町づくり



第80号
2023.8.1

ちくぜん

社会福祉協議会だより

磯の香りと潮風に包まれて



心も身体もリフレッシュ!!

在宅介護者リフレッシュ事業(関連記事7P)



就任の挨拶・退任の挨拶2P
 筑前町社会福祉協議会新役員及び評議員3P
 令和4年度事業報告(抜粋)..... 3~5P
 令和4年度決算報告・報告6P

紹介・報告 7P
 お知らせ 8P
 募集・連載 福祉教育のススメ 9P
 支え合いだよりVol.1 10P

発行編集 / 社会福祉法人 筑前町社会福祉協議会

メールアドレス chikuzenshaky@tea.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.chikuzen-shakyo.or.jp/>
〒838-0215 朝倉郡筑前町篠隈373 コスモスプラザ福祉館内 ☎0946-42-4555 FAX0946-42-5941



就任の挨拶

新会長 山本 秀一

この度、令和5年6月に開催されました理事会におきまして、川上会長の後任として社会福祉協議会会長に就任いたしました。

この3年間新型コロナウイルス感染症の影響により孤独や引きこもり、貧困、さらには地域における支え合いの希薄化など様々な課題が顕在化しています。また、経済状況では収入の減少などに加え、物価高騰が家計を圧迫しており、日常生活が困難な世帯の増加は深刻な社会問題となっております。

本協議会の令和5年度の事業方針として、このような複雑化した地域生活の課題に対応するため、一体的に支援できる体制を構築し、相談支援・寄り添い支援及び地域づくりに向け行政や社会福祉法人、地域住民、各種団体などの関係機関と協働して取り組んでまいります。

「住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らせる豊かな地域づくり」を目指して、地域住民の皆様と緊密に連携・協力し、思いやりのある地域社会の実現に向けて役職員一同、尽力していきたいと思っております。

今後共、町民の皆様のご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。



退任の挨拶

前会長 川上 康男

令和3年6月18日より筑前町社会福祉協議会会長として、町民のみなさまに支えられ微力ながら努めてまいりました。この度、理事任期満了に伴い6月14日を以って退任いたしました。

任期中は、行政をはじめ区長会、民生委員・児童委員やシニアクラブ、ボランティアの方々、さらには、社会福祉協議会に深いご理解とご協力をいただいたみなさまに心から感謝申し上げます。

この2年間、新型コロナウイルス感染症による非常事態宣言のもと、感染対策として人との交流や外出自粛などで、これまで本協議会が進めてきた地域福祉の推進は中止もしくは延期せざるを得ない事業もありましたが、収入の減少で生活が困窮し、日常生活の維持が困難な世帯へ生活福祉資金特別貸付の実施や感染者に対する買い物支援など、迅速に対応することが出来ました。

今年1月以降感染症は減少傾向に向かい、コロナ禍前の活動が徐々に戻ってきました。これを機に新役員体制のもと、複合化・複雑化した地域生活課題に対応するため、一体的に支援できる体制を構築し、相談支援、寄り添い支援および地域づくりに向けた支援を、あらゆる関係機関と協働して取組んで頂くことを期待しています。

結びに、みなさまのご健勝と、社会福祉協議会のさらなる発展を祈念申し上げます。

筑前町社会福祉協議会役員

任期 令和5年6月14日の、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会終結の時まで

役職名	氏名	選出区分	役職名	氏名	選出区分
理事(会長)	山本 秀二	学識経験者	理事	矢野 和雄	シニアクラブ連合会会長
理事(副会長)	岡部 由美子	学識経験者	理事	野寄 千恵	ボランティア連絡協議会会長
理事	山田 善悟	学識経験者	理事	田中 政浩	町議会議長
理事	平山 克之	学識経験者	理事	中野 高文	副町長
理事	柏原 德行	区長会会長	理事	神崎 英昭	福祉課長
理事	石丸 和子	民生・児童委員協議会会長	監事	山本 厚	学識経験者
理事	柳 誠	社会福祉事業施設	監事	廣田 博文	学識経験者

筑前町社会福祉協議会評議員

任期 令和3年6月の選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会終結の時まで

氏名	選出区分	氏名	選出区分
砥板 俊介	学識経験者	木村 博文	身体障害者福祉協会会長
堤 久美子	学識経験者	脇田 保裕	遺族会会長
中尾 茂喜	区長会	石松 哲	シルバー人材センター理事長
杉谷 武浩	商工会	吉森 千鶴子	ボランティア連絡協議会
後藤 千代香	民生・児童委員協議会	古賀 芳美	町公民館長
橋津 信寛	保護司	寺原 裕明	町議会副議長
和田 秀哉	人権擁護委員	宮崎 敏宏	教育長
今村 順	社会福祉事業施設		

令和4年度事業報告(抜粋)

総括的概要

社会福祉協議会は、民間組織であり住民参加による組織運営が要求されています。地域福祉の推進では、地域支え合い活動の受容性、推進の必要性を理解していただき地域福祉の担い手づくりを推進しました。また、断らない相談支援を心掛け、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるように相談解決に努めました。

事業別実績

1. 法人運営

(1) 法人運営事業

- ①会議の開催
 - ・監査 2回
 - ・理事会 4回
 - ・評議員会 4回
 - ・評議員選任・解任委員会 3回
- (2)組織運営及び機能強化
 - ・財務運営管理
- (3)役職員の資質の向上
 - ・研修体制確立及び各種研修会への参加

2. 社会福祉事業

(1) 独自事業

- ①心配ごと相談事業
 - ・毎月第1、第3金曜日に相談日開設
 - ・相談員 14人
 - ・相談件数 33件
 - ・相談内容 家族、生計、相続など
 - ・相談員研修の実施

(4) 事務局体制の整備 (5) 広報活動の推進

- (広報・ホームページ)
 - ①広報誌発行
 - ・「ちくせん社協だより」、
 - 「声の社協だより」 4回
 - ②町発行広報誌「広報ちくせん」による広報・情報提供
 - ③ホームページに福祉情報を掲載
 - ④ホームページリニューアル委員会 6回
 - ⑥地域活動計画の実現に向けて短期計画を修正し推進

(2) 受託事業

① いきいきサロン事業

- ・開催地区 33地区
- ・実施地区 31地区
- ・未実施地区 2地区
- ・実施回数 延べ259回
- ・参加人数延べ3,837人
- (ア) サロン代表者会議 2回
- (イ) 防犯講座の実施 12地区
- (ウ) 各サロンの取り組み

- ・園児との交流 1地区
- ・野外活動 8地区
- ・町の出前講座 39回
- ・その他の出前講座 97回
- ・独自活動 26回
- (エ) コロナ禍による衰退への対応

② 在宅高齢者等配食サービス事業

- ・配食総数 7,174食
- ・月平均利用者数 57人

※9月30日で受託契約が終了

③ 敬老館運営事業

- ・開館日数 301日
- ・入館者数 3,563人

※3月31日で受託契約が終了

④ 敬老館食堂事業

- 敬老館利用者等に弁当の予約販売
- ・合計 1,881食

※9月30日で受託契約が終了

⑤ 放課後児童健全育成事業

(ア) 入所児童数

- ・みわっ子SUNクラブ 年度初め 108人 年度末 86人
- ・のびのびクラブ 年度初め 84人 年度末 65人
- ・すくすくクラブ 年度初め 78人 年度末 69人
- ・夏休みのみの受け入れ

- ・みわっ子SUNクラブ 6人
- ・のびのびクラブ 2人
- ・すくすくクラブ 2人

(イ) 保護者、学校、こども未来センターと連携

- ・保護者会、役員会 10回

(ウ) 学童連絡会の開催

(エ) 保護者会、役員会

- ・保護者会 コロナのため中止
- ・役員会

- ・みわっ子SUNクラブ 1回

のびのびクラブ 2回

すくすくクラブ 1回

(オ) 「安全管理マニュアル」に

- 則した運営に取り組み「安全計画」「業務継続計画」作成

(カ) 統括支援員と支援員の連携

(キ) 研修会参加 延べ64人

(ク) 処遇改善の提案・協議

(ケ) 安心メールの活用

(コ) 一部運営移行の引継準備

⑥ 障害者相談支援事業

(ア) 指定特定相談事業

- ・サービス等利用計画

(イ) モニタリング含む 36件

(ウ) 指定一般相談支援事業

- ・相談業務 164件
- ・障がい相談日

(エ) 障がい相談日

- 毎月第1、第3金曜日に開設

- ・相談件数 3件

⑦ 障害者支援区分認定調査

- ・認定調査 202件

⑧ コミュニケーション支援事業

- ・利用実績 60件
- ・利用登録者 12人

- ・利用登録者

・手話通訳登録者 8人

・要約筆記登録者 4人

⑨ 在宅介護者のつどい

- ・7月交流会(町内) 17人
- ・11月交流会・講座(町内) 10人
- ・2月交流会・講座(町内) 6人

⑩ 生活福祉資金貸付事業

- ・生活福祉資金貸付事業

(ア) 生活福祉資金

(イ) 生活福祉資金

- ・相談件数 71件
- ・緊急小口資金 3件
- ・教育支援資金 3件
- ・福祉費 1件

- ・福祉費

- ・教育支援資金

- ・緊急小口資金

- (イ) 特例貸付

- ・相談件数 116件
- ・特例緊急小口資金 23件
- ・特例総合支援資金 27件

- ・特例緊急小口資金

- ・特例総合支援資金

(ウ) 生活困窮相談支援

- ・特例貸付償還相談対応 40件
- 受付9月30日終了

⑪ 日常生活自立支援事業

- ・利用者 13人
- ・解約者 3人
- ・支援員(住民支援員含) 5人
- ・専門員 3人

- ・利用者

- ・解約者

- ・支援員(住民支援員含)

- ・専門員

⑫ボランティアセンター運営事業

(ア)情報の発信

- ・センターだよりの発行年3回
- ・ホームページの更新

(イ)ボランティア依頼の対応および活動の提供

- ・依頼数 60件
- ・マッチング数 60件
- ・活動者数 118人
- ・ボランティア個人登録数 40人

・ボランティア団体登録数 15団体(2006人)

(ウ)小中学生向け福祉教育への取り組み

(エ)ボランティアセンター運営委員会の実施

(オ)各種ボランティア講座の実施

(カ)ボランティア交流会の実施

⑬生活支援コーディネーター事業

(ア)LINE脳若365を活用した情報発信

・発信回数 40回

(イ)居場所の立ち上げの推進

(ウ)住民参加型有償生活支援

サービス事業の運用

- ・新規依頼件数 26件
- ・実施決定件数 17件
- ・延べ支援回数 285回
- ・かせし隊登録者数 21人
- ・かせし隊のスキルアップ講座

(3)共同募金配分金事業

A. 高齢者福祉事業

①いきいきサロン応援隊の育成

- ・応援隊研修 2回
- ・参加隊員 22人

②ひとり暮らし高齢者のつどい

コロナ禍のため外出からプレゼント送付に変更

③敬老の日祝事業

- ・送付人数 165人
- ・白寿 6人
- ・米寿 161人

④金婚お祝い事業

⑤シニアクラブ連合会への配分及び支援

⑥遺族会への配分及び支援

B. 障がい者福祉事業

①福祉用具(車いす・電動ベット)の貸与

30件

②身体障害者福祉協会の配分及び活動支援

町内3か所

C. 児童・青少年福祉事業

①小・中学生の福祉教育の推進

(ア)福祉教育プログラムの提案

(イ)福祉教育教材「ともに生ききる」の配布 全小学校 授業見学 1校

(ウ)福祉教育実施対応

・小学校向け福祉教育プログラムの実施 延べ5校

・ゲストティーチャー対応 2校

・小学校希望の福祉教育プログラム実施 2校

・中学校福祉体験学習 2校

(ロ)地域住民(福祉教育サポーター)、町内福祉施設職員と連携

②各小・中学校福祉協力校へ助成金配分

③福祉教育用具の貸与 5件

D. その他の福祉事業

①福祉育成

(ア)バス停管理(巡回、清掃、点検)

(イ)レクリエーション用具の貸与 35件

②ボランティア活動

(ア)ボランティア連絡協議会への支援と助成金配分

(イ)災害ボランティア活動者に対し保険の助成 1件

(ウ)「筑前町を良くする助成」の交付 6団体

3. その他

(1)社会福祉法人連絡会

①施設長会 1回

②「コロナ感染者世帯への買物支援 10世帯(延べ11回)

③サポーター部会 9回

(2)まちづくりついで前講座

①介護予防のための軽運動 3回

②レクリエーション用具で遊ぼう！ 21回

令和4年度 社会福祉協議会収支決算報告

(単位：円)

科目	決算額
寄付金収入	1,945,188
市町村補助金収入	38,704,159
受託金収入	86,377,878
事業収入	87,600
共同募金配分金収入	6,118,100
受取利息配当金収入	995
雑収入	1,555,725
事業活動収入計	134,789,645
人件費支出	108,722,367
事業費支出	15,977,693
事務費支出	4,041,560
共同募金配分金事業事業費返還金	742,616
助成金支出	2,474,524
雑支出	0
事業活動支出計	131,958,760
事業活動資金収支差額	2,830,885
施設整備等資金収支差額	0
その他の活動による収支差額	△ 2,744,666
当期資金収支差額合計	86,219
前期末支払資金残高	28,710,418
当期末支払資金残高	28,796,637

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	決算額	科目	決算額
流動資産	40,742,996	流動負債	14,649,059
固定資産	65,252,965	固定負債	31,792,820
基本財産	2,000,000	負債の部合計	46,441,879
その他の固定資産	63,252,965	純資産の部	
		基本金	2,000,000
		その他の積立金	31,460,145
		次期繰越活動収支差額	26,093,937
		国庫補助金等特別積立金	0
		純資産の部合計	59,554,082
資産の部合計	105,995,961	負債及び純資産の部合計	105,995,961



今回の訓練では多くの地域住民や関係機関の方に災害ボランティアセンターのことを知ってもらうことができ、大変有意義な訓練となりました。



昨今、日本各地で災害が同時に発生し、被害規模も大きくなっています。そのような中、災害ボランティアセンターにおいては関係機関のみならず地域住民や災害ボランティアのみならずともに協働で地域の復旧・復興に向け、取り組むことができます。求められています。

社会福祉協議会は、筑前町会場において災害ボランティアセンター開設運営訓練として災害ボランティアの受付から1日の活動終了までの一般的な流れの説明を行いました。

5月28日(日)に県・市町村・防災関係機関の災害時の連携強化や県民の防災意識の高揚を目的に朝倉市・東峰村・筑前町の3か所で同時に訓練が実施されました。

報告 福岡県総合防災訓練

紹介

地域の活動紹介 筑前町シニアクラブ連合会

筑前町には、おおむね60歳以上の方たちが会員となつて、地域で様々な活動をする「シニアクラブ」があるのをご存じですか？

4月18日(火)、シニアクラブの会員の方が丹精込めて作った玉ねぎを、美和みどり保育所の年長さんと一緒に収穫しました。

終始笑顔で子どもたちと一緒に作業するシニアクラブの皆さんや、収穫した玉ねぎの大きさをお友達同士で競い合い、シニアクラブの方に自慢げに見せる子どもたちの姿はとても微笑ましい光景でした。

収穫した玉ねぎは、シニアクラブの方が小分けにして、子どもたちが笑顔で持ち帰りました。

これからも社会福祉協議会は、笑顔あふれる地域づくりを目指して、地域活動を応援していきたいと思ひます。



報告

在宅介護者リフレッシュ事業 「介護者のつどい」を開催しました。

5月25日(木)に介護者11人で糸島市に出掛けました。芥屋大門の遊覧船に乗った後、玄界灘を眺めながら魚介たつぷりの美味しい食事をいただきました。昨年度はコロナ禍で町内での交流会と講座の開催に事業を縮小しましたが、今回は3年振りにバスハイクを再開して実施しました。

参加者の方からは「久しぶりに会えた人もいてうれしかった」や「今日は楽しい1日を過ごしました」との声をいただきました。次回の開催は、社協日より10月号でお知らせします。

※この事業は、「そつたく基金(株)ヒラノのタマゴ」さまからのご寄付によるものです。



ご寄付ありがとうございました。
(令和5年4月1日～令和5年6月30日)



香典寄付

31件 445,000円

※皆様からいただきました心温かいご寄付は、筑前町の社会福祉事業のため、有効に活用させていただきます。

福岡県共同募金会筑前町支会からの お知らせ

この度の令和5年5月能登地方地震、令和5年台風2号に伴う大雨、福岡県令和5年7月豪雨により被災されたみなさまに心からお見舞いを申し上げます。

福岡県共同募金会筑前町支会では、被災された方々を支援することを目的に義援金を募集しています。ご協力をよろしくお願いいたします。

〈令和5年5月能登地方地震災害義援金〉

- 受付期間 5月10日(水)～9月27日(水)
- 送金先 石川県共同募金会
- 義援金配分対象の県 石川県内2市1町(輪島市・珠洲市・能登町)
- 義援金の配分 協力いただいた義援金は、関係団体等で構成される石川県災害義援金配分委員会により配分基準を決定し、市町を通じて被災者へ配分されます。

〈令和5年台風2号災害義援金〉

- 受付期間 6月12日(月)～9月6日(水)
- 送金先 中央共同募金会
- 義援金配分対象の県 茨城県・静岡県など
- 義援金の配分 ご協力いただいた義援金は、被災地それぞれの行政、共同募金会、日本赤十字社各支部等で構成される災害義援金の募集・配分委員会において取りまとめを行い、配分基準に基づき、各市町村を通じて被災者に配分されます。

〈福岡県令和5年7月豪雨災害義援金〉

- 受付期間 7月18日(火)～令和6年3月27日(水)
- 送金先 福岡県共同募金会
- 義援金配分対象の県 福岡県内久留米市他5市3町1村
- 義援金の配分 ご協力いただいた義援金は、福岡県災害対策本部へ送金し、福岡県が設置する義援金品配分委員会を通じて被災者へ配分されます。

※義援金は、コスモスプラザ福祉館
(社会福祉協議会窓口)で受け付けて
います。



募集

大人のための手話体験講座

聴覚障がいや手話への関心と理解の推進を目的に開催します。

聴覚障害者福祉部会や筑前手話の会の方と一緒に楽しく手話を学びましょう。

みなさんのご参加お待ちしております。

日程 8月23日～9月27日

(毎週水曜日 全6回)

時間 13時30分～15時

会場 コスモスプラザ福祉館

会議室7他

対象者 町内在住者及び在勤者、

登録ボランティア

定員 15人

参加費 200円

申込締切 8月18日(金)

申込方法 社協窓口又は電話



敬老の日祝い事業

令和5年度中に白寿・米寿を迎えられる方に、記念品を贈ります。該当者には、社会福祉協議会から郵送にて通知いたします。ご確認のうえ、記念品をご希望の方は、社会福祉協議会までお電話でお申し込みください。



■申込締切■ 8月18日(金)まで

■申込み・問合せ先■ 筑前町社会福祉協議会 TEL(0946)42-4555

連載

福祉教育のススメ

Part4

手話を知ろう！やってみよう！

今回は、指文字の「ら行」と「わ行」を紹介します。

「ら」は、中指と人差し指を立ててからませます。アルファベットの「R」の指文字と同じです。

「り」は、人差し指と中指の2本を立てて、手首をスナップしながら、カタカナの「リ」の文字を書く動きをします。

「る」は、開いた手のひらの小指と薬指だけを折り曲げます。カタカナの「ル」の形です。

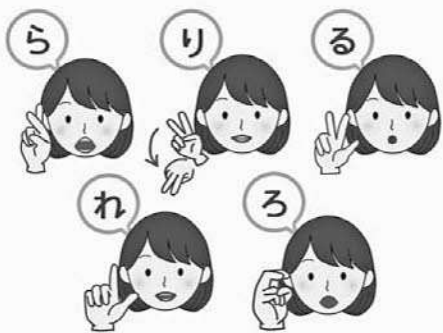
「れ」は、親指と人差し指でアルファベットの「L」の形を作ります。カタカナの「レ」の形です。

「ろ」は、小指を相手側に向けて握り、人さし指と中指を“カギ形”に曲げます。

「わ」は、人差し指、中指、薬指の3本を立てます。アルファベットの「W」の指文字と同じです。

「を」は、「お」の指文字の形と同じで、自分側に引く動きをします。

「ん」は、人差し指だけを立てて、カタカナの「ン」の字を書く動きをします。



支え合いだより

Vol.1
わいわい

住み慣れた地域で暮らすためには、地域での助け合い・支え合いが必要です。私たち地域支え合い推進員が今回から発行する「支え合いだより」では、誰もが支え合い、助け合える筑前町を目指すために、役立つ情報や活動を紹介していきます♪地域住民の皆様及び関係機関・団体等のご理解、ご協力を得るために発行していきます。

「地域支え合い推進員」を知っていますか？

筑前町や地域での課題・困りごとを地域の方々が主体的に解決できる仕組みや取り組みのお手伝いをします。

●困った時に相談できる人、場所を見つける

●お互いを支え合い、助け合える関係づくり

●どんな事でもおしゃべりできる場や環境づくり

●一人にしない仕組みづくり



このような活動をしています。

地域の情報をお待ちしています。



1 居場所立ち上げ相談

2 地域・個人からの相談対応

3 住民参加型有償生活支援サービス事業

4 地域活動の取材・紹介

5 行政関係機関との連携

6 出前講座

募集

聞こえのおはなし～聞こえにくってどんなこと？～

いつまでも、家族や友人と楽しくコミュニケーションをとるために、聞こえについて学ぶ講座です。聞こえに不安や不自由を感じている人、理解を深めたい人、ぜひこの機会に学んでみませんか？

【日程】9月3日(日)10:00～12:00

【定員】20人

【対象者】町内在住者及び在勤者

【受講料】無料

【場所】めくばーる学習館2階
視聴覚室

【申込締切】8月28日(月)

【申込方法】社協窓口・電話・QRコード



社会福祉法人 筑前町社会福祉協議会
<http://www.chikuzen-shakyo.or.jp/>

〒838-0215
福岡県朝倉郡筑前町篠隈373 コスモスプラザ福祉館内
TEL 0946-42-4555 FAX 0946-42-5941